# 子ども神楽交流事業を初実施へ

## 継承の機運醸成狙い

島根県など

島根県と県文化振興財団（藤岡大拙理事長）が2011年度、神楽に取り組む県内の小中学生が2泊3日で集う「子ども神楽交流事業」を初めて実施する。神楽団体の高齢化が進む中、同世代同士で親睦を深め、継承の機運を高めるのが狙い。

県によると、県内では現在、約250の神楽団体が活動しており、各地域で親しまれている。

だが、高齢化で後継者の確保と育成が課題に。12年度に浜田市で「子ども神楽全国サミット（仮称）」が開かれることもあり、県全体で子どもたちが交流し、横のつながりが持てる機会を求める声が上がっていた。

計画では5月に県や市町村、神楽団体などでつくる「県子ども神楽連絡協議会（仮称）」を設置し、7月と8月に計2回実施する交流事業の具体案や、今後の方針を協議する。

参加者は、希望する10団体、約150人を予定。益田市と雲南市を主会場に、それぞれ5団体のメンバーが、発表や活動報告、衣装作りなどに取り組むことにしている。

同財団文化振興課の野津博康課長は「地域ごとに異なる形態の神楽を見て勉強し、今後の活力源となる機会にしたい」と話している。

# 血圧抑制のギャバ豊富

## アルプロン製薬が新商品

雲南

アルプロン製薬が産学官の共同研究で商品化した健康食品「アルプロンA」

機能性食品を製造販売するアルプロン製薬（雲南市加茂町、坂本宏允社長）が、パン酵母から多糖類のβ（ベータ）グルカンを精製する同社独自の技術を応用して、血圧を抑える効果があるギャバを豊富に含み、安全性にも優れた健康食品を開発し、発売した。島根県産業技術センターや島根大学医学部との共同研究が実った。

同社は2005年設立のベンチャー企業で、同県などとの産学官連携により、パン酵母から化学薬品を使わずに、93・5%以上の高純度のβグルカンを抽出する技術を確立。この技術を使った機能性食品を07年から、山陰両県のドラッグストアなどで販売している。

新商品は、βグルカンの製造過程で出るものの、これまでは廃棄していた酵母エキスを有効活用しようと、08年から同センターと研究を始めた。

製法は、酵母エキスを加温により、血圧抑制などの機能性に優れる必須アミノ酸やペプチドに分解。さらに、特殊な乳酸菌を加えて発酵させ、ギャバを作る。この技術は特許出願中。09年度に同大が製品の動物実験を行い、血圧抑制や血管の老化防止効果を確認した。

1粒0・35㌘の粉末入りカプセルに加工。1粒のギャバ含有量は、発芽玄米の茶わん1杯分に当たるという。4月から「アルプロンA（エース）」という商品名で、1カ月用（90粒、価格3980円）と2カ月用（180粒、同7800円）をインターネット上で発売。今後、店頭販売も目指す。

# お花見レガッタ参加クルー募集

## 斐伊川さくらボート協会

ボート競技の普及を図る「第10回斐伊川お花見

…＝金液）という絵の具を使った金彩で、鳥と2種の植物の文様を三段に散らし、小樹の花には銀彩も見られる。

これらの図柄は中国の文物を参考にしたとみられる。自然豊かな中にあって身の回りの草花や鳥などに目を向ける…る。本作は新しい表現として金彩を使った53歳の作。

（島根県立美術館学芸統括監・藤間寛）

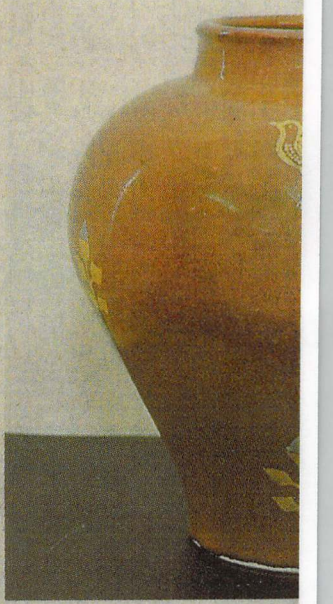
◇会期　4月21日（木）―27日（水）

◇場所　一畑百貨店松江店

かきゆうきん さ

# 柿釉金彩

1989（平成元）年



期大学部看護学科（出雲市）の校舎増改築費8億7900万円で、増改築費は全額県からの補助金。

一方で、大学経営に充てる県からの運営費交付金は07年度以降、県財政のスリム化を目的に毎年

模索。浜田…は11年度中…への参加中…になるなど…サポーター…設する。11…間とし無料…らは1人当…00円を徴…

レガッタ」…雲南市木次…設コース…で開かれ…斐伊川さ…会（佐藤…参加クル…る。

競技種…人と舵手…ルーを編…フォア。…者らを主…男子」「…雲南地域…心にした…「一般女…わない50…合の「シ…く小学4…生以下で…ア」の6…予選と敗…決勝、決…